

有栖川宮熾仁親王「有栖川宮熾仁親王書簡」

明治9（18

76）年7月24日

いよいよ  
愈御安穩大賀存候。

しから  
然は、昨日家令え御示

談の一件に付、来二十

六日午後五時、芝離

宮に於て相催候事に

決定致候間、此段

申入候。来客は三条、岩

倉の両大臣、木戸、大久保

伊藤の三参議、宮内卿、

杉少輔、東久世に御座候。

料理皿は総て内

膳課え倚頼也。いらい右

同尅前迄に御来集

被下度段、くだされたき仍以一書よつて

御案内迄申入候也。

七月二十四日

熾仁

陸奥殿

柳原殿

拝承謹清